

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：當眞 瑞代 作成日：2026年1月20日

1. 教育の責任

経営学部の教員として、経営学部では、マーケティング入門、実践演習（マーケティングⅠ）、食のマーケティング、サービス経営、流通マーケティング、商品企画論と共通科目のキャリアデザインを担当している。その他、現代社会学部のマーケティングリサーチ、健康栄養学部/商品開発論（一部）を担当している。

2. 教育の理念

授業を通じて、視野が広がり、成長へつながる支援ができることを念頭にしている。

◆自律的な学べのサポートと学生の活躍の場の提供

授業で獲得した知識をできる限り実践的に活用し、自律的に学ぶサポートを行い、学生が活躍できる場の提供を重視している。

◆生涯学び続けることの大切さの理解促進

建学の精神でもある「STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）」の理解を促し、学ぶことが「自由と豊かさをもたらす」ことへの気づきを促すことを重視している。

◆学びと社会とのかかわりを理解する

専門科目であるマーケティングなどの授業を通して、企業だけでなく、私たち自身が消費者として、社会を作り上げていることを理解し、社会に貢献できる人材へと成長することを支援することを重視している。

3. 教育の方法

◆知識の習得と実践的に学ぶ機会・場をつくる

授業は、原則として、教員作成の資料等に基づき、事例を踏まえ、わかりやすい授業の進行を心掛けている。その上で、課題やグループワーク（ペアワーク）での活動、授業内での議論などを通して、学んだ知識を実際に活用できるよう、その機会と場を作る工夫をしている。これにより、対話の重要性の理解やリーダーシップなどの行動面での成長も促すよう努めている。また、企業で活躍しているゲストを招聘し、学んだ知識がどのように活用されているかを学べるようにしている。なお、授業は、履修生全体で自律的に補完し合い、学生がより積極的に授業に参加できるよう心掛けている。

◆自らの専門分野における自身の成長

学生の成長に貢献できるよう、研究や学会、ワークショップなどへ積極的に参加し、常に自身の知識の習得を心掛けている。

4. 教育の成果

グループワークの達成目標として、企業経営者や行政団体へ発表を行うことで、学生の自律的かつ積極的な学びを促進でき、企業などからも好評を得た。また、マーケティングリサーチでは、ヒアリングやリサーチ結果を通して、将来にわたり継続して学ぶことの大切さ、学ぶことの楽しさを理解できたと、学生の評価を得た。

5. 改善への努力と今後の目標

今後の目標は、teamsなどのデジタル媒体を積極的に活用し、学生が主体となって、自ら調べる、議論するなど、履修生全体で、また、教員と双方向で学ぶ授業をさらに目指したいと考えている。

【添付資料】

なし